

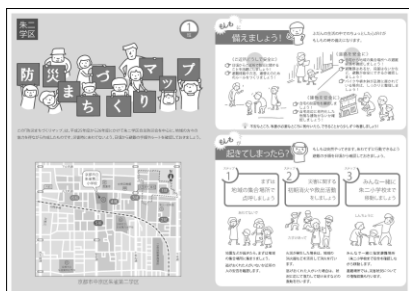
◆ “防災まちづくりマップ” ができました！

朱二学区自主防災会では、安心して安全に暮らすことのできるまちづくりをめざし、「防災まちづくりマップ」を作成しました。

これまで「防災まちづくりマップ」の作成に向けて、地域みなさんと一緒に「防災まちあるき」を実施し、路地の状況や防災上の問題点などについて確認するとともに、「防災まちづくりワークショップ」を開催し、延べ100人近い方々と一緒に、地域の防災上の課題や問題点などについて話し合いました。

これらの取組を踏まえ、「防災まちづくりマップ」には、路地の状況や防災上の課題や問題点のほか、災害時の地域の集合場所などを示しています。また、日頃から心がけることや、災害時の避難方法についても記しています。

まず、「防災マップ」上部の空白部分に、ご自分の“地域の集合場所”を書き込んでいただいた上で、ご自宅周辺に防災上の課題や問題点がないか、今一度、ご確認いただきますようお願いいたします。



ご自宅からお住いの町の集合場所までどのように向かうのかを、ご自身で点検しましょう。

お住いの町の集合場所を確認し、書き込んでください。

班別に作成しています。

《防災まちあるき》
 平成25年12月7日(土)
 平成26年1月18日(土)

《防災まちづくりワークショップ》
 平成26年2月21日(金)
 平成27年2月20日(金)

災害時には、まず「地域の集合場所」に集まりましょう。そこで、安否確認や周辺の被災状況の確認を行います。

私の「地域の集合場所」は です。

【朱二学区1班】
 中野町、中町北部、西町一部、西町二部

【避難所や地域の集合場所など】

- 避難所
- 地域の集合場所
- 避難所への基本ルート

【緊急時のための設備など】

- 消火栓
- 防火倉庫
- 防炎倉庫
- AED
- 公衆電話
- 公衆トイレ
- 災害時協力戸
- 防災器具等を
お借りできるお宅

【道路の状況】

- 幅員4.0m以上の道路
- 幅員1.8~4.0mの道路
- 幅員1.8m未満の道路
- 歩路(突き当りか壁物)
- 段差(突き当りか壁)
- 縦断(突き当りかドア)
- トンネル跡地

【公園や公共施設など】

- 公園
- 公共施設等
- 神社
- 学区外
- 境界
- 町界

縮尺 1/1400

◆東中町に“防災ひろば”ができました！

京都市では、空き家問題の解決を地域の防災力向上につなげる手法のひとつとして、空き家の路地等を防災ひろばに再整備する「まちなかコモンズ整備事業」を実施しています。

このほど、所有者や町内会の協力のもと、京都市で第1号となる“まちなかコモンズ”が、朱二学区の東中町に完成しました。

東中町の“防災ひろば”は、木造住宅が立ち並ぶ狭い路地に面した約40㎡の土地に整備されました。戦前からあった住宅を取り壊し、近隣の方々が、憩いの場として活用できるようベンチを設置しています。また、町内の防災器具を収納する防災器具庫も設置しています。

今後も防災ひろばの整備など様々な取組を学区の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、御協力をお願いします。

(H27. 4. 22 京都新聞朝刊)

東中町にできた“防災ひろば”



◆これからの防災まちづくりに向けて、みなさんのご意見をお寄せください！

朱二学区自主防災会では、今後も継続して、家や道、まちの安全性を高めていく「防災まちづくり」の取組を進めていくための羅針盤となる「朱二学区防災まちづくり計画」を平成27年度中に作成する予定です。

「防災まちづくり計画」には、①防災まちづくりの目標及び方針、②防災まちづくりの具体的な対策、③対策の進め方などについて、記載する予定です。

この「防災まちづくり計画」の作成に向け、防災まちづくりに関するアンケートを同封しています。ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。

～「朱二学区総合防災訓練」のお知らせ～

このたび、朱二学区自主防災会では、大地震の発生を想定した防災訓練を、**平成27年9月6日（日）**に実施します。多数のご参加をいただきますよう、お願いします。

<総合防災訓練の内容>

- ①各家庭、各地域の集合場所での安否確認訓練等
- ②情報、消火、救出救護、避難誘導、給食給水訓練
- ③大規模災害により多数の負傷者があった場合の救護訓練など